

葉月は現在では8月の別名ですが、本来は旧暦8月の名前で、木の葉が紅葉して落ちる月「葉落月」からきているそうです。しかし、公園内はまだまだ盛夏！木々は連日の猛暑にも負けず枝葉を勢よくのびし続け、森全体を深い緑に仕上げています。そして、8月7日には立秋を迎えます。この頃からは公園内に点在する秋の七草も花をつけ始めます。森の中では昆虫たちが樹液を摂るのに大忙し。オニヤンマは優雅に縄張りの監視飛行中。下旬頃になると溪流エリアでは珍しい秋の花も開花を始めます。

※葉月の読みは「はづき」で、名の由来は諸説あります。旧暦8月は現在の9月です



公園内の高い木がたくさん生えているエリアを散策中に見上げると、写真のように木の枝が全く重ならずにおたがいが成長している様子がよく分かります。（この写真では、高さの低いカエデの葉に少し遮られていますが）海外の巨木の森で、この隙間がもっとはうきりしているものは、クラウンシャイネス現象（樹冠の譲り合い）と呼ばれているようです。なぜこうなるのかは、まだ詳しい研究はされていないみたいです

公園内にある さわやかな香りがする 葉っぱ3種



ダンコウバイ 檀香梅
クスノキ科 クロモジ属
名前は、ビャクダン（白檀）のような良い香りがあり、花の形が梅に似ていることに由来します。

※それぞれの木の香りの強さは、季節や個体によって変わることがあります



クロモジ 黒文字
クスノキ科 クロモジ属
若枝の表面に現れる黒い斑紋を文字に見立てた。香りが良いため高級な楊枝の材料になります。



タムシバ 田虫葉
モクレン科 モクレン属
噛むとさわやかな甘味があるためカムシバ（噛む葉）の名が付き、それがなまって転じたそうです。



オミナエシ



キキョウ



カワラナデシコ

上段は、上・中旬から咲く秋の七草の3種
下段の2種は、下旬から花を付けだします



ミヤマウズラ



アケボノソウ



▲▶ 8月下旬の横溝堰の溪流散策コースには「オオシラヒゲソウ」が特徴のある花をつけてひっそりと寄り添うようにたたずんでいます。この花は、散策路からは見つけることが難しく危険な場所にあるので、サポーターの案内での観察をお願いします



森に入って昆虫たちを観察しよう！



昆虫たちのオアシス



コムラサキとカブトムシ



カブトムシ



ミヤマクワガタ



ノゴリクワガタ



コクワガタ

8月の特別体験イベント

乳川のいきものと砂鉄調査隊

8月2日(土)～8月24日(日)の土日

いきものの森探検隊 アニマルトラッキング
定員に達したため募集を締め切りました

詳しくは公園ホームページの
イベント情報をご覧ください



イワナの
幼魚を
見つけたよ！



乳川に入って
いきものを
探そう！

自然環境学習グループでは、森の散策体験・ノルディックウォーク体験・ネイチャーゲームなどのさまざまな体験を行っています。（8月は河畔探勝・リフレッシュの森ウォーキングはお休みします）詳しくは、公園ホームページの“自然観察ガイド”や“森の体験舎 今月のプログラム”をご覧ください。体験受付場所は公園入口を通り抜けてすぐ左側にあります。

私たちがご案内します
お気軽に声をかけてください